

備前市事務事業評価表

事務事業名	道路等維持管理事業(吉永)		コード	01-01-11-08
			担当課・係	吉永総合支所 産業建設課
			担当者	森野 浩一
			電話	0869-84-2516
事業実施期間				
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	道路		

事業について	
目的 (何のために)	部分的に破損・老朽化した市道を維持修繕することにより、通行する人・車輛の安全確保及び円滑化を図る。
対象 (誰・何を対象に)	市道を通行する全ての人及び車輛
内容	吉永地域内8路線約14.5kmの幹線的市道の草刈等維持管理業務委託、及び各地区からの要望により、維持修繕箇所を把握し事業を進めていく。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
維持修繕箇所数	17 箇所	24 箇所	
草刈等維持管理業務委託延長	14.5 km	14.5 km	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	8,894	国庫補助金等		直接事業費	18,415	国庫補助金等	
	人件費	1,855	委託者負担		人件費	3,117	委託者負担	
	合計	10,749	市債	10,749	合計	21,532	市債	21,532
			一般財源等				一般財源等	0

必要人員	0.25 人	0.32 人	
結果指標	維持修繕箇所	維持修繕箇所	
結果指標量	17	24	
単位	箇所	箇所	
対前年比	-	141.18%	0.00%
活動にかかるコスト	6,262,000 円	17,366,300 円	
単位当たりコスト	368,353 円	723,596 円	
結果指標名	草刈等維持管理業務委託延長	草刈等維持管理業務委託延長	
結果指標量	14.5	14.5	
単位	km	km	
対前年比	-	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	4,487,000 円	4,165,700 円	
単位当たりコスト	309,448 円	287,290 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	道路維持修繕を実施することにより事故が発生しないようにする。		
成果指標名	事故発生件数	式又は説明	数値が増加しないことを目標とする。
	17年度	18年度	
成果指標量	0	0	
対前年比	-		
到達目標値	0	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等	妥当性評価<A~E> <b>A</b> 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	部分的な市道の維持修繕工事であるが、市道利用者の安全確保には不可欠な事業である。また、通行に危険を伴う道路の陥没等については、緊急に対応しなければならない。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> <b>C</b> 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	道路・橋梁が老朽化しているため、補修が必要となることから、コスト削減は困難であるが、簡易な修繕に関しては、職員・地域のボランティア等で対応してコスト縮減に努めている。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> <b>B</b> 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 簡易な修繕については、地元住民の協力を得ることができた。
----------	---	---	------------------------------------

目標値	結果指標量	20	結果指標量	14.5
	成果指標量	0		

総合評価	簡易な修繕については職員、又は地元等に協力をお願いしているが、工事等特殊な作業が必要な場合は安全性・効率性を考えると専門の業者等へ依頼するのが適当と思われる。	評価区分 <A~E> <b>B</b>
------	---	------------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	投資効果の有効箇所の検討	H18~	投資効果の向上